

美学・美術史専攻（博士課程前期）カリキュラムマップ（2022年度以降入学者用）

<p>人材育成の目的</p>
<p>美学・美術史専攻では、美学、芸術学、美術史学の諸分野を総合的かつ体系的に研究している。このような研究と芸術の鑑賞を通じて、鋭敏な感性と、歴史的コンテキストの中で本質をとらえる思考力を養い、それを基にした歴史認識によって、ますます多様化、複雑化する社会において、自律的な対応のできる人物を育てることを目的としている。</p>
<p>課程の修了の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）</p>
<p>次の条件を満たした者には、当該課程を修了したことが認められる。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 美学・美術史の専門的研究能力を修得し、自律的に研究を継続できること。 (2) 教育機関、文化行政機関、研究機関、美術館・博物館その他の、美学・美術史関係の専門的知識を必要とする諸方面において、自らの学問的営為や成果を踏まえて適切な活動を展開する能力を身につけていること。 (3) 美学・美術史の領域における自らの知見を他者に客観的かつ説得的に伝達するための、理論構築力と表現方法を身につけ、また必要に応じて外国語の十分な運用能力を身につけていること。 (4) 自らの専門分野のみならず、他の美学・美術史の研究分野についても関心を持ち、十分な理解を有すること。
<p>教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）</p>
<p>課程の修了の認定に関する方針に示した能力を身につけるため、次の方針で教育課程を編成し、実施します。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 学生の自律的研究能力を養成する目的で、授業は講義形式とともに学生の積極的発表と議論に基づくゼミナール形式を重視します。例えば、多様な専門領域に属する学生がともに学び、議論しあえる総合ゼミナールを設けます。自身の発表をおこなうのはもちろん、他者の発表にも理解と関心を持ち、的確な質疑応答ができるようになることを目指します。 (2) カリキュラム編成の基本原則として、まず、専門分野に関する高度な内容の授業を提供しつつ、同時に美学・諸芸術学・美術史の諸分野を幅広く学べるようにすることにより、人間と世界に関する学生の知識と洞察を深めることを目指します。次に、学生が幅広い教養を身につけ、広く社会で活躍するに資する知見を得られるよう、専門分野の垣根をできる限り低くします。 (3) クラスに出席して学ぶ授業科目の他に、個別の研究指導科目を設けます。そこでは、美学・諸芸術学・美術史関係の修士論文の作成に向け、学生が自らのテーマに関する研究情勢をすみやかに把握し、自力で方法論を発展させ、かつその成果を的確な文章で表現できるように指導します。 (4) 授業は研究指導を含め基本的にセメスター制とし、留学を容易にします。また、長期履修学生制度により、多様な学修形態を可能にします。 (5) 国内はもちろん、専門分野によっては早くから海外の学会にも参加して、刺激と動機づけを得るよう支援します。関連して、できるかぎり海外から客員教員を招聘し、英語による授業の機会を設けます。 (6) 必要に応じ、学芸員課程の履修を可能にし、学芸員資格を取得する機会を与えます。実態に即した意識と、即戦力となる応用力を養成するために、美術館学芸部門等でのインターンを一定条件のもと修了単位として認め、積極的に推奨します。

美学・美術史専攻（博士課程前期）カリキュラムマップ（2022年度以降入学者用）

カリキュラムマップ		対応する修了の認定に関する方針の番号
到達の目標		
a.	美学、演劇学、音楽学、映画学、日本美術史学、東洋美術史学、西洋美術史学など、美学・美術史専攻で学べる学問に関する専門的知識および方法論を修得する。	(1) (2) (3) (4)
b.	自律的研究能力を養い、自らの知見を他者に客観的かつ説得的に伝達するために必要な思考力と論理的な表現力を身につける。	(1) (2) (3) (4)
c.	自律的研究能力を養うために必要な発表・議論する力を習得する。	(1) (2) (3) (4)
d.	研究成果を論理的で的確な文章で伝える能力を養う。	(1) (2) (3) (4)
e.	教育機関、文化行政機関、研究機関、その他専門知識を必要とする諸方面において、自らの学問的営為や成果を踏まえて、適切な活動を展開する能力を養う。	(1) (2) (3) (4)

授業科目表（美学・美術史専攻 博士課程前期）

授業科目名	授業の方法	単位数	到達目標				
			a.	b.	c.	d.	e.
美学研究ⅠA	演習	2	○	○	○		○
美学研究ⅠB	演習	2	○	○	○		○
美学研究ⅡA	演習	2	○	○	○		○
美学研究ⅡB	演習	2	○	○	○		○
美学研究ⅢA	演習	2	○	○	○		○
美学研究ⅢB	演習	2	○	○	○		○
芸術学研究ⅠA	演習	2	○	○	○		○
芸術学研究ⅠB	演習	2	○	○	○		○
芸術学研究ⅡA	演習	2	○	○	○		○
芸術学研究ⅡB	演習	2	○	○	○		○
芸術学研究ⅢA	演習	2	○	○	○		○
芸術学研究ⅢB	演習	2	○	○	○		○
日本美術史研究ⅠA	演習	2	○	○	○		○
日本美術史研究ⅠB	演習	2	○	○	○		○
日本美術史研究ⅡA	演習	2	○	○	○		○
日本美術史研究ⅡB	演習	2	○	○	○		○
日本美術史研究ⅢA	演習	2	○	○	○		○
日本美術史研究ⅢB	演習	2	○	○	○		○
東洋美術史研究ⅠA	演習	2	○	○	○		○
東洋美術史研究ⅠB	演習	2	○	○	○		○

美学・美術史専攻（博士課程前期）カリキュラムマップ（2022年度以降入学者用）

授業科目名	授業の方法	単位数	到達目標				
			a.	b.	c.	d.	e.
東洋美術史研究ⅡA	演習	2	○	○	○		○
東洋美術史研究ⅡB	演習	2	○	○	○		○
西洋美術史研究ⅠA	演習	2	○	○	○		○
西洋美術史研究ⅠB	演習	2	○	○	○		○
西洋美術史研究ⅡA	演習	2	○	○	○		○
西洋美術史研究ⅡB	演習	2	○	○	○		○
西洋美術史研究ⅢA	演習	2	○	○	○		○
西洋美術史研究ⅢB	演習	2	○	○	○		○
比較美術史研究A	演習	2	○	○	○		○
比較美術史研究B	演習	2	○	○	○		○
美学・美術史インターンシップ	演習	2		○	○		○

研究指導	単位数	到達目標				
		a.	b.	c.	d.	e.
美学研究指導ⅠA	2	○	○	○	○	○
美学研究指導ⅠB	2	○	○	○	○	○
美学研究指導ⅡA	2	○	○	○	○	○
美学研究指導ⅡB	2	○	○	○	○	○
美学研究指導ⅢA	2	○	○	○	○	○
美学研究指導ⅢB	2	○	○	○	○	○
芸術学研究指導ⅠA	2	○	○	○	○	○
芸術学研究指導ⅠB	2	○	○	○	○	○
芸術学研究指導ⅡA	2	○	○	○	○	○
芸術学研究指導ⅡB	2	○	○	○	○	○
芸術学研究指導ⅢA	2	○	○	○	○	○
芸術学研究指導ⅢB	2	○	○	○	○	○
日本美術史研究指導ⅠA	2	○	○	○	○	○
日本美術史研究指導ⅠB	2	○	○	○	○	○
日本美術史研究指導ⅡA	2	○	○	○	○	○
日本美術史研究指導ⅡB	2	○	○	○	○	○
日本美術史研究指導ⅢA	2	○	○	○	○	○
日本美術史研究指導ⅢB	2	○	○	○	○	○
東洋美術史研究指導ⅠA	2	○	○	○	○	○
東洋美術史研究指導ⅠB	2	○	○	○	○	○

美学・美術史専攻（博士課程前期）カリキュラムマップ（2022年度以降入学者用）

研究指導	単位数	到達目標				
		a.	b.	c.	d.	e.
東洋美術史研究指導ⅡA	2	○	○	○	○	○
東洋美術史研究指導ⅡB	2	○	○	○	○	○
西洋美術史研究指導ⅠA	2	○	○	○	○	○
西洋美術史研究指導ⅠB	2	○	○	○	○	○
西洋美術史研究指導ⅡA	2	○	○	○	○	○
西洋美術史研究指導ⅡB	2	○	○	○	○	○
西洋美術史研究指導ⅢA	2	○	○	○	○	○
西洋美術史研究指導ⅢB	2	○	○	○	○	○
比較美術史研究指導A	2	○	○	○	○	○
比較美術史研究指導B	2	○	○	○	○	○